

学力向上だより 1

H25. 6. 18 (発行)

発行責任者：学力向上班指導主任



日々のよりよい授業づくりをめざして

梅雨の花、アジサイが色鮮やかに咲き、心をなごませてくれています。学校によっては、運動会（体育大会）や修学旅行などの大きな行事が終わり、一段落ついた時期ではないでしょうか。

今年度、西部教育事務所学校教育担当学力向上班では、「学力向上」に関して、先生方と一緒に取り組んでいきたいことを発信していく予定です。優れた実践や学力向上に関する具体的な取り組みの紹介をしたり、学力向上に関する研修会での話題や内容についてのお知らせ、学習状況調査を活用した授業づくりの情報提供等を行ったりして、「よりよい授業づくり」を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

第1回学力向上対策担当者会

5月28日・30日に学力向上対策担当者会を行いました。教育事務所が統合して初めての学力向上対策担当者会で、会場を嬉野（藤津地域・杵島郡・武雄市・西松浦郡の学校の先生方が参加）と唐津市（東松浦地域・伊万里市の学校の先生方が参加）の2か所に分けて開催しました。組織力を高め、さらに創意工夫し、学力向上の推進を図ってほしいとの思いで企画しました。その主な内容を紹介します。

1 講義 今年度の学力向上対策について

(1) 学力向上対策担当者の役割について

参加された先生方に、「学力向上担当者の役割は何か」ということについて自分の取り組みを振り返っていただきました。その中で、学校の学力向上の推進役として、日ごろ頑張っておられること、推進に当たっての悩み等をお話し合ってくださいました。児童生徒の学力向上をめざし、学校全体で共通理解し共通実践を図っていくために、担当者として努力されていることが伝わってきました。



(2) 佐賀県が進めるPDCAサイクル確立による学力向上対策について

今年度、佐賀県が進める学力向上対策についての説明をしました。特に学力向上対策「評価シート」の役割と記入の手順、留意点についての話をしました。



学習状況調査をただの調査に終わらせず、よりよい授業づくりのきっかけにしていきたいと思います。学習状況調査の結果をもとに、子どもの学ぶ姿を振り返り、よりよい姿にするための手だてを講じていきたいと思います。そのためには目的を明確にし、具体的な取り組みについて校内研修で共通理解を図ることが大切です。

2 協議 学力向上のための効果的な取り組みについて

(1) 各グループでの協議・情報交換

学力向上のための取り組みとして効果があったことや、学力向上担当者としての関わり方などについて協議をしていただきました。

先生方からは

- ・校内の体制づくり
- ・校内研との関わり
- ・家庭学習
- ・家庭との連携
- ・ICTの利活用
- ・日々の授業づくり などについて工夫された実践がたくさん出されました。

小グループ協議

- 1 司会、発表者、記録者の決定
- 2 各先生から
 - ① 自己紹介
 - ② 昨年度の取り組みで効果があったもの
その取り組みでの自分のかかわり方
 - ③ 悩みやアドバイスがほしい事柄
- 3 協議
 - ・もっと詳しく聞きたい
 - ・同じ取り組みだが、うち学校では～
 - ・こんな場面で行っていましたか？

テーマ作文
に取り組ん
でいます。

「家庭学習
のしおり」を
配布して、家
庭学習の充
実を図って
います。



(2) 協議結果の発表

最後に小グループからの発表をまとめて、全体への報告をしました。その内容について紹介します。

【小学校Aグループ】

- 「授業そのものを子どもが『好き』と言える」授業づくり
- 朝の時間の効果的な活用（B問題用対策）
- 保護者との連携（保護者の啓発、家庭学習についての理解・協力）
- 日々の授業が大事（「板書」についての研究等）

職員間の温度差の解消のために担任だけに押し付けずに全員で取り組んでいくことを心がけていきたい。

【小学校Bグループ】

- 授業づくりのための体制づくりとQ-Uを活用した支援体制づくり
- 家庭との連携
- 学力向上のための組織の立ち上げと全職員での共通理解
- 学習状況調査の活用（結果を日々の授業に生かしていく）

子どもたちに何が足りないのか、どんな力をつけたいのか、みんなで話し合っていかなければならない。

【中学校Cグループ】

- 担当者として校内研とのタイアップを図る体制づくり
スキルアップのために（全体でできない場合）グループでの小集団研修
- 生徒が“落ち着いて授業を受けることのできる”環境づくり
- 家庭学習の充実（生徒のタイムマネジメントの指導を行う）

いろいろな教科で、共通実践できることを考えていきたい。